

私は3週間、中学校で教育実習生としてお世話になりました。担当したクラスは2年生、保健体育の授業は3学年とも見させていただきました。受け持たせていただいた領域は陸上競技で第1学年が短距離走・ハードル走、第2学年が走り幅跳び、第3学年がハードル走です。保健は、呼吸器・循環器の発達（1年）、生活習慣病とその予防（3年）です。また、担当予定外ではありましたが道徳を志願して1コマ分いただきました。私が実習にて立てた目標が2つあります。

1つ目は生徒に全力ですることの楽しさを知ってもらうことです。そのために手本をなす私自身も全力で手本を示し、声出しやランニングなども共に行いました。クールに手本を示し生徒に憧れてもらう、カリスマ的存在になることの方が良いかもしれませんが。全体が見える位置でじっと観察しなければなかったかもしれません。しかし私は、教師が近くにいた方が生徒に緊張感が生まれ、活気のある授業を助長できると思いました。生徒からも、授業の入りから盛り上がりみんなが前向きに取り組みやすい授業でしたというフィードバックをいただきました。目標を達成した手応えがあり、これからも自分の軸にします。

2つ目の目標は生徒の心に残る授業をするということです。できれば一生、これから何年経っても私の言葉が生き続け生徒たちの日々の行動選択が1つでも2つでも変わればと思います。これは私が教師になろうと思った原点でもあり、時間が限られた中でしたが目指さずにはられませんでした。そのため私は道徳の授業を志願しました。私が道徳で取り扱った内容はルール（社会的規律）についてです。どんなルールがあるか、破るとどうなるか、なぜ存在するのかなどを考えさせました。私が伝えたかったことは、ルールは守らせられるのではなく、自らルールを理解して守ることができる人間が自律的な人間になることができるということです。これを軸に様々な肉付けをしていきました。授業の序盤、あまり埋まっていなかったワークシートも提出時にはたくさん埋まった状態になっていました。授業の終盤に伝えたいことを述べているとき、自分で何を言っているのかわからなくなってしまったときがあります。その時自分で首を傾げそうになりましたが自信を持って熱弁させてもらいました。生徒たち全員と目が合って、「今、伝わっているな」という感覚を掴みました。私が実習中にした授業の中で一番の授業だと思います。生徒たちにこれからの行動選択が1つでも変われば私の授業は成功です。しかしそれがわからないのが残念ですが教師とはそういうものだと思います。多くのことを学ばせていただいた教育実習ですが、これを己の初心にしてこれからの教師人生の糧にしていきます。